

令和6年度

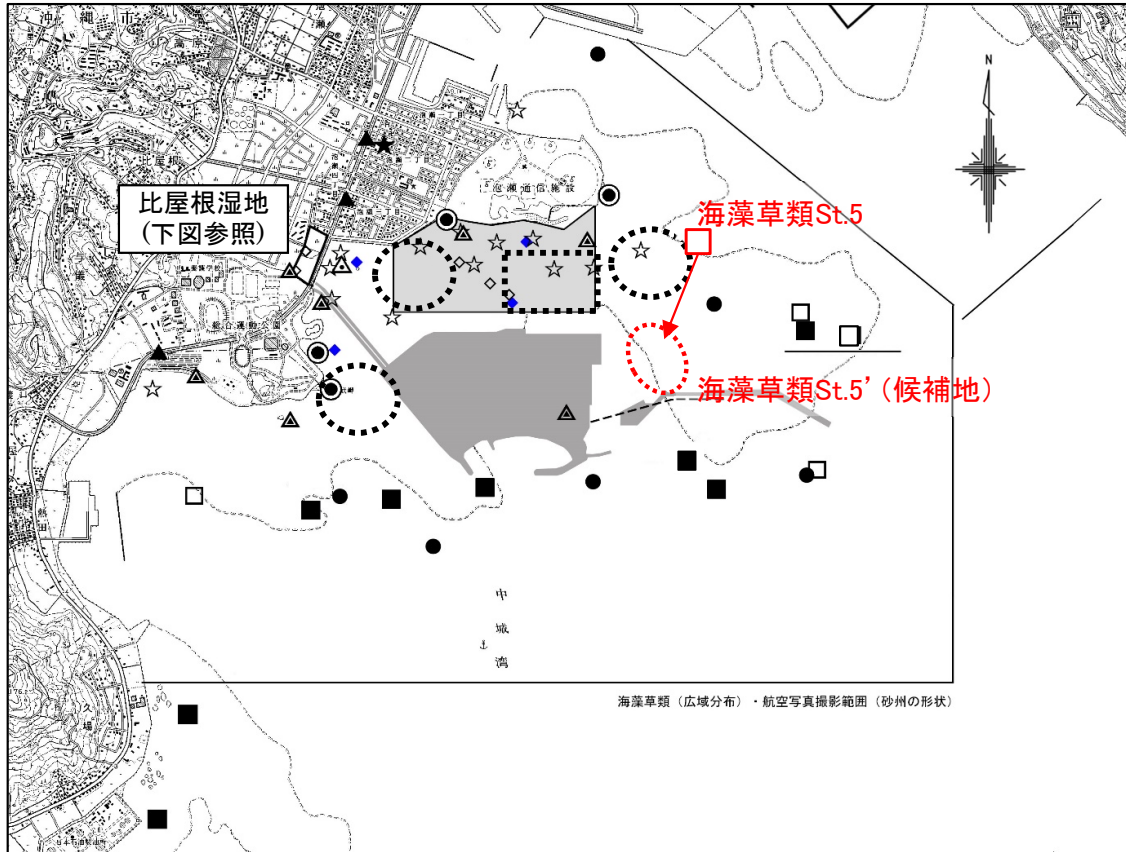
中城湾港泡瀬地区環境監視委員会

第1回 委員会資料

(令和6年度環境監視調査計画)

令和6年7月1日

# 令和6年度環境監視調査計画(工事中)



## <凡例>

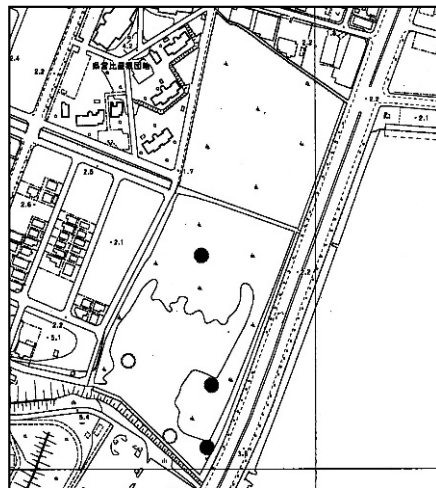
- ★:大気質
- ▲:道路交通騒音・振動
- :水質
- △:植物・動物(鳥類)  
※コアジサシの繁殖状況は砂州等の営業地を調査
- ◎:植物・動物(オカヤドカリ類)
- :植物・動物(海藻草類)
- ⊞:植物・動物(海藻草類:小型海草藻場)
- :植物・動物(クビレミドロ)
- ◇:クビレミドロ関連濁り
- :植物・動物(サンゴ類)
- △:植物・動物(トカゲハゼ)
- ◆:干潟部(水路部)水質
- ☆:干潟生物生息状況
- ⊙:魚類

- 注)1. クビレミドロの対照区(屋慶名地区)及び海藻草類の対照区(津堅島)は除く。  
2. オカヤドカリ類については、令和6年度は実施予定。

## 比屋根湿地(拡大図)

### <凡例(比屋根湿地)>

- :毎木調査
- :水質・魚類・甲殻類・軟体動物



## 令和6年度の調査内容等

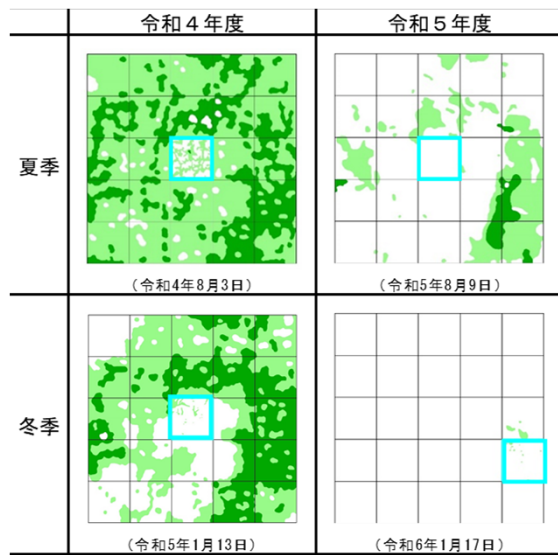
- ・海藻草類調査地点St. 5について、調査枠内の海草の減少により、植生を代表する場所とはいえない状況となったことから、令和6年度調査より地点をSt. 5'に変更する(次ページ参照)。
- ・工事中の濁り監視調査の位置については、工事の進捗に応じた見直しを行う。

# 令和6年度環境監視調査で変更したい内容等

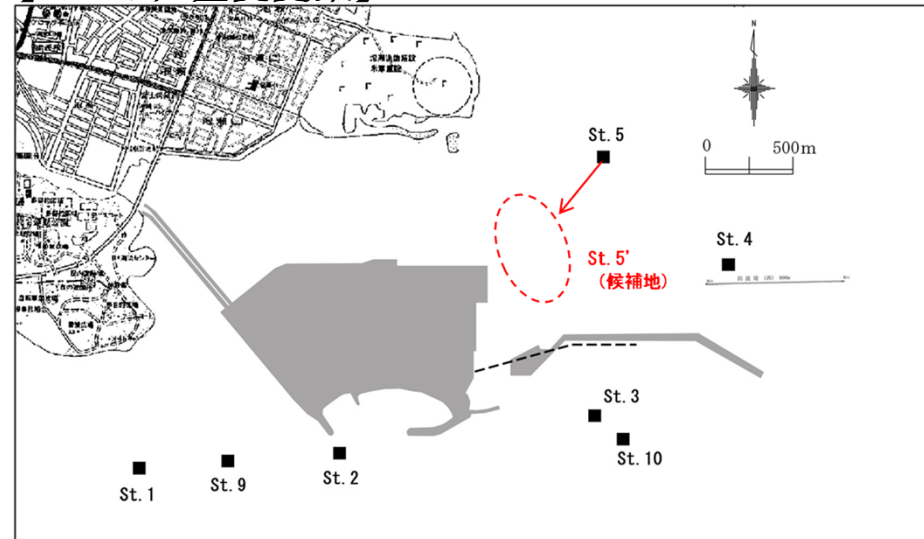
## 【海藻草類調査地点St.5の位置変更】

- ・海藻草類調査(監視調査)は、泡瀬地区の海藻草類の生育状況を確認することを目的に、埋立計画地周辺の比較的海草類の生育被度が高い代表的な藻場において地点を設定し、これまで実施してきているところ、令和6年1月の監視調査において、St.5の海草が減少し、調査枠内に残存する海草が僅かの状況となっている。
- ・一方で、埋立計画地周辺を含む他海域では海草が生育していることから、St.5は泡瀬海域の海草の植生を代表する場所とはいえない状況である。そのため、泡瀬地区における代表的な藻場として、新たに監視調査に適した地点の選定を行った。
- ・令和6年3月に現地踏査を実施し、藻場の被度(構成種)、水深、底質、その他の環境条件(波浪影響の受けやす等)の観点から、これらの条件がSt.5と類似し、比較的被度が高い場所を代替地点の候補(St.5')として選定した。
- ・令和6年度調査以降は、St.5'を補足地点として、海藻草類のモニタリングを継続したい。

## 【St.5における海草分布状況の変化状況】

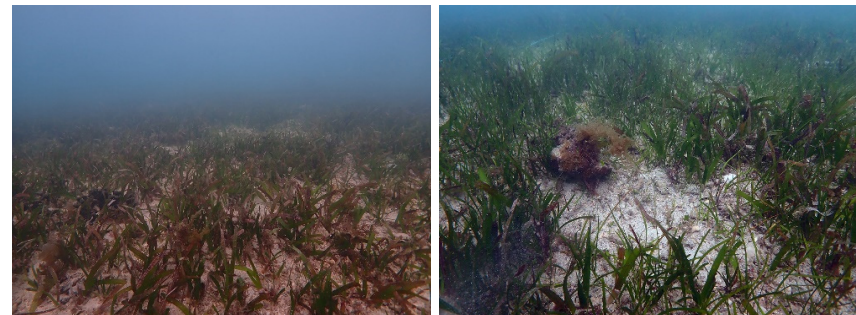


## 【St.5の位置変更案】



※St.5'は図中赤破線で示した候補地の中から選定予定

## 【St.5' 候補地点の状況】



## 【環境条件の比較】

項目	St.5	St.5'
被度	<5~5%(R4~5年度)	10~15%
優占種	リュウキュウスガモ リュウキュウアマモ	リュウキュウスガモ リュウキュウアマモ
水深	D.L.+0.1m	D.L.-1.0~-0.5m
底質	砂礫	砂礫
波浪影響(洗堀)	-	なし